対象校No. 94
注４

学校コード F122110106233
注３

設置年度　令和　4年度

計画の区分：　研究科の専攻の設置又は課程の変更
注１

意見伺い

注2
浜松医科大学　医学系研究科　看護学専攻　博士後期課程

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

国立大学法人浜松医科大学
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	課長（カチョウ）・大隅（オオスミ）　孝文（タカフミ）
電話番号	053-435-2109
（夜間）	053-435-2109
ｅ－ｍａｉｌ	ssb@hama-med.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医学系研究科

＜看護学専攻博士後期課程＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

国立大学法人浜松医科大学

（２）大　学　名

浜松医科大学

（３）調査対象大学等の位置

〒431－3192
静岡県浜松市中央区半田山1-20-1

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長			
学　　長	（コンノ　ヒロユキ） 今　野　弘　之 （平成28年4月）		
学 部 長			
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学系研究科 看護学専攻（博士後期課程） 博士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	3 年	3 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	9 人		

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
Ａ　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 3 （　－　） ［　－　］	人	人 3 （　－　） ［　－　］	人	人 3 （　－　） ［　－　］	人				
志願者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	5 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	6 （　－　） ［　　］	（　－　） ［　　］				
受験者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	5 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	6 （　－　） ［　　］	（　－　） ［　　］		1.22倍	－	
合格者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	5 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　　］	（　－　） ［　　］				
Ｂ　入学者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	5 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　－　］	（　－　） ［　－　］	3 （　－　） ［　　］	（　－　） ［　　］				
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		－		1.66		1		1					

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	3 [－] (－)	－ [－] (－)	3 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	3 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	5 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		[ ] ( )		5 [－] (－)		8 [－] (－)		11 [－] (－)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和元年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
令和2年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	5 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	8 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	11 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	0 人	－ 人	
			令和5年度	0 人	－ 人	
			令和6年度	0 人	－ 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の５月１日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) ＝ 0 / 5 ＝ 0 %

【令和5年度】

令和5年度の退学者数(a) / 令和5年度の在学者数(b) ＝ 0 / 8 ＝ 0 %

【令和6年度】

令和6年度の退学者数(a) / 令和6年度の在学者数(b) ＝ 0 / 11 ＝ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜医学系研究科看護学専攻博士後期課程＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			2	1				3
	医療倫理学	1前		2							9
	行動神経科学	1前		2							1
	医学統計学	1後		2							1
	疫学方法論	1･2通		2							3
	小計（5科目）	－	1	8		2	1				17
専門科目	基礎看護学特講	1通		2		1			1		
	基礎看護学特別演習	1通		2		1			1		
	健康科学特講	1通		2		1	1				
	健康科学特別演習	1通		2		1	1				
	小計（4科目）	－		8		2	1		1		
	成人看護学特講	1通		2		2	1				
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1				
	高齢者看護学特講	1通		2		1					1
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1					1
	小計（4科目）	－		8		3	1				1
	リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2					
	リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2					
	小児看護学特講	1通		2			1	1			
	小児看護学特別演習	1通		2			1	1			
	小計（4科目）	－		8		2	1	1			
	地域看護学特講	1通		2		1	2				
	地域看護学特別演習	1通		2		1	2				
	精神看護学特講	1通		2		1					
	精神看護学特別演習	1通		2		1					
	小計（4科目）	－		8		2	2				
	特別研究	1～3通	6			9	5				
	小計（1科目）	－	6			9	5				
合計（22科目）		－	7	40	0	9	5	1	1		18

卒業要件及び履修方法

原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目1単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目6単位の合計13単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。

【令和６年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			3	1				3
	医療倫理学	1前		2							7
	行動神経科学	1前		2							1
	医学統計学	1後		2							1
	疫学方法論	1･2通		2							2
	小計（5科目）	－	1	8		3	1				14
専門科目	基礎看護学特講	1通		2		1			1		0
	基礎看護学特別演習	1通		2		1			1		0
	健康科学特講	1通		2		2	1				
	健康科学特別演習	1通		2		2	1				
	小計（4科目）	－		8		3	1		1		0
	成人看護学特講	1通		2		2	1				
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1				
	高齢者看護学特講	1通		2		1					0
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1					0
	小計（4科目）	－		8		3	1				0
	リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2					
	リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2					
	小児看護学特講	1通		2			1	1			
	小児看護学特別演習	1通		2			1	1			
	小計（4科目）	－		8		2	1	1			
	地域看護学特講	1通		2		1	2				
	地域看護学特別演習	1通		2		1	2				
	精神看護学特講	1通		2		1					
	精神看護学特別演習	1通		2		1					
	小計（4科目）	－		8		2	2				
	特別研究	1～3通	6			10	5				
	小計（1科目）	－	6			10	5				
合計（22科目）		－	7	40	0	10	5	1	1		14

卒業要件及び履修方法

原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目1単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目6単位の合計13単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。

【令和５年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			2	1				4
	医療倫理学	1前		2							7
	行動神経科学	1前		2							1
	医学統計学	1後		2							1
	疫学方法論	1･2通		2							3
	小計(5科目)	－	1	8		2	1				16
専門科目	基礎看護学特講	1通		2					1		1
	基礎看護学特別演習	1通		2					1		1
	健康科学特講	1通		2		1	1				
	健康科学特別演習	1通		2		1	1				
	小計(4科目)	－		8		1	1		1		1
	成人看護学特講	1通		2		2	1				
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1				
	高齢者看護学特講	1通		2		1					1
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1					1
	小計(4科目)	－		8		3	1				1
	リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2					
	リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2					
	小児看護学特講	1通		2			1	1			
	小児看護学特別演習	1通		2			1	1			
	小計(4科目)	－		8		2	1	1			
	地域看護学特講	1通		2		1	2				
	地域看護学特別演習	1通		2		1	2				
	精神看護学特講	1通		2		1					
	精神看護学特別演習	1通		2		1					
	小計(4科目)	－		8		2	2				
	特別研究	1～3通	6			8	5				
	小計(1科目)	－	6			8	5				
	合計(22科目)	－	7	40	0	8	5	1	1		18

卒業要件及び履修方法

原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目１単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目６単位の合計１３単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。

【令和４年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	看護学研究方法論	1通	1			2	1				4
	医療倫理学	1前		2							8
	行動神経科学	1前		2							1
	医学統計学	1後		2							1
	疫学方法論	1･2通		2							3
	小計(5科目)	－	1	8		2	1				17
専門科目	基礎看護学特講	1通		2		1			1		
	基礎看護学特別演習	1通		2		1			1		
	健康科学特講	1通		2		1	1				
	健康科学特別演習	1通		2		1	1				
	小計(4科目)	－		8		2	1		1		
	成人看護学特講	1通		2		2	1				
	成人看護学特別演習	1通		2		2	1				
	高齢者看護学特講	1通		2		1					1
	高齢者看護学特別演習	1通		2		1					1
	小計(4科目)	－		8		3	1				1
	リプロダクティブヘルス看護学特講	1通		2		2					
	リプロダクティブヘルス看護学特別演習	1通		2		2					
	小児看護学特講	1通		2			1	1			
	小児看護学特別演習	1通		2			1	1			
	小計(4科目)	－		8		2	1	1			
	地域看護学特講	1通		2		1	2				
	地域看護学特別演習	1通		2		1	2				
	精神看護学特講	1通		2		1					
	精神看護学特別演習	1通		2		1					
	小計(4科目)	－		8		2	2				
	特別研究	1～3通	6			9	5				
	小計(1科目)	－	6			9	5				
	合計(22科目)	－	7	40	0	9	5	1	1		18

卒業要件及び履修方法

原則として3年以上在学し、共通科目の必修科目１単位と選択科目から2単位以上、専門科目から特講と特別演習各2単位、特別研究の必修科目６単位の合計１３単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士後期課程の目的に応じ、博士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。

（注）
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
  （例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和６年度】(新)→【令和５年度】(新)→【令和４年度】→【令和３年度】→【令和６年度】(旧)→【令和５年

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和４年度】

・令和４年４月1日付で就任した理由により、「看護学研究方法論」の兼任・兼担の配置を「３」から「４」に変更。
・令和３年３月３１日付で本学を退職した理由により、「医療倫理学」の兼任・兼担の配置を「９」から「８」に変更。

【令和５年度】

・令和５年３月３１日付で本学を退職した理由により、「医療倫理学」の兼任・兼担の配置を「８」から「７」に変更。
・令和５年３月３１日付で本学を退職した理由により、「基礎看護学特講」、「基礎看護学特別演習」及び「特別研究」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」に変更。そのことにつき「基礎看護学特講」及び「基礎看護学特別演習の兼任・兼担を「０」から「１」に変更。

【令和６年度】

・令和５年度に受審したAC教員審査で３名が研究指導資格のある専任教員として認められた理由により、「看護学研究方法論」の専任教員等の配置を「教授２」から「教授３」に変更、「基礎看護学特講」及び「基礎看護学特別演習」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」に変更、「健康科学特講」及び「健康科学特別演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授８」から「教授１０」に変更。
・専任教員として認められた教員のうち１名が兼任教員であった理由により、「看護学研究方法論」の兼任・兼担を「４」から「３」に変更。
・専任教員が授業を担当する理由により、「基礎看護学特講」及び「基礎看護学特別演習」の兼任・兼担を「１」から「０」に変更。
・令和５年１０月３１日付で本学を退職した理由により、「高齢者看護学特講」及び「高齢者看護学特別演習」の兼任・兼担を「１」から「０に変更。
・令和６年３月３１日付で本学を退職した理由により、「疫学方法論」の兼任・兼担を「３」から「２」に変更。

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の<u>未開講や廃止については記入しない</u>でください。
- 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
11 科目	2 科目	－ 科目	13 科目	11 科目 [ ]	2 科目 [ ]	－ 科目 [ ]	13 科目 [ ]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{13} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	令和５年１月 土地の交換による （５） 令和４年５月 土地の購入による （５）
	校舎敷地	24,898㎡	—　㎡	—　㎡	24,898㎡	
	運動場用地	38,334㎡	—　㎡	—　㎡	38,334㎡	
	小　　計	63,232㎡	—　㎡	—　㎡	63,232㎡	
	その他	237,455 ~~237,383~~	—　㎡	—　㎡	237,455 ~~237,383~~	
	合　　計	300,687 ~~300,615~~	—　㎡	—　㎡	300,687 ~~300,615~~	
(2) 校舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
		42,616㎡ （42,616㎡）	—　㎡ （　㎡）	—　㎡ （　㎡）	42,616㎡ （42,616㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	令和６年４月 用途変更による増 令和５年４月 改修工事による変更 （５）
	16~~15~~16室	45~~38~~室	~~15~~14室	2室 （補助職員0人）	0室 （補助職員0人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）	16	室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学院医学系研究科看護学専攻（博士後期課程）	50,297〔6,313〕 ~~49,722〔6,286〕~~ ~~49,490〔6,541〕~~ ~~48,262〔6,568〕~~ (50,297〔6,313〕) ~~(49,722〔6,286〕)~~ ~~(49,490〔6,541〕)~~ ~~(48,262〔6,568〕)~~	764〔317〕 ~~762〔320〕~~ ~~769〔329〕~~ ~~760〔333〕~~ (764〔317〕) ~~(762〔320〕)~~ ~~(769〔329〕)~~ ~~(760〔333〕)~~	1,727〔144〕 ~~1,697〔147〕~~ ~~1,651〔149〕~~ ~~1,580〔159〕~~ (1,727〔144〕) ~~(1,697〔147〕)~~ ~~(1,651〔149〕)~~ ~~(1,580〔159〕)~~	1,000 ~~988~~ ~~992~~ ~~833~~ (1,000) ~~(988)~~ ~~(992)~~ ~~(833)~~	2,023 ~~3,375~~ (2,023) ~~(3,375)~~	1 （　1　）	学部単位での特定不能のため大学全体の数 令和6年5月 機械・器具の購入及び廃棄等による増減 （６） 令和６年５月 図書等の受入及び廃棄等による増減（６） 令和５年５月 図書等の受入及び廃棄等による増減（５） 令和４年５月 図書等の受入及び廃棄等による増減（４）
	計	50,297〔6,313〕 ~~49,722〔6,286〕~~ ~~49,490〔6,541〕~~ ~~48,262〔6,568〕~~ (50,297〔6,313〕) ~~(49,722〔6,286〕)~~ ~~(49,490〔6,541〕)~~ ~~(48,262〔6,568〕)~~	764〔317〕 ~~762〔320〕~~ ~~769〔329〕~~ ~~760〔333〕~~ (764〔317〕) ~~(762〔320〕)~~ ~~(769〔329〕)~~ ~~(760〔333〕)~~	1,727〔144〕 ~~1,697〔147〕~~ ~~1,651〔149〕~~ ~~1,580〔159〕~~ (1,727〔144〕) ~~(1,697〔147〕)~~ ~~(1,651〔149〕)~~ ~~(1,580〔159〕)~~	1,000 ~~988~~ ~~992~~ ~~833~~ (1,000) ~~(988)~~ ~~(992)~~ ~~(833)~~	2,023 ~~3,375~~ (2,023) ~~(3,375)~~	1 （　1　）	

(6) 図書館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	令和４年５月 書架等の購入による増 （４）
	2,158㎡	375 ~~351~~	61,459 ~~61,283~~	

(7) 体育館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	1,371㎡	武道館1、弓道場1、プール1、テニスコート4面、グラウンド1、野球場1	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費（運営費交付金）による
		教員１人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	浜松医科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
医学系研究科	4 2 3	30 16 3	－	170	－			－	平成11	－				
医学専攻（博士課程）	4	30	－	120	博士（医学）	1.39	－	－	平成24	静岡県浜松市中央区半田山一丁目20番1号				
看護学専攻（博士前期課程）	2	16	－	32	修士（看護学）	1.40	－	－	平成11	同上				
看護学専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（看護学）	1.22	－	令和4	令和4	同上				
光医工学共同専攻（博士後期課程）	3	3	－	9	博士（光医工学）	1.33	－	－	平成30	同上				
大学全体	4 2 3	30 16 3	－	170	－	－	－	－	－	－				

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等
（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の
コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

５　教員組織の状況

＜医学系研究科看護学専攻博士後期課程＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田　年 （61） ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	片山　はるみ （56） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		基礎看護学特講 基礎看護学特別演習 特別研究
専	教授	脇坂　浩 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	教授	鈴木　みずえ （62） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究
専	教授	安田　孝子 （60） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	武田　江里子 （57） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	木戸　芳史 （44） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究
専	教授	渡井　いずみ （55） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究

【令和４年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田　年 （61） ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	片山　はるみ （56） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		基礎看護学特講 基礎看護学特別演習 特別研究
専	教授	脇坂　浩 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	教授	鈴木　みずえ （62） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究
専	教授	安田　孝子 （60） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	武田　江里子 （57） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	木戸　芳史 （44） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究
専	教授	渡井　いずみ （55） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究

【令和５年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田　年 （62） ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	脇坂　浩 （53） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	教授	鈴木　みずえ （63） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究
専	教授	安田　孝子 （61） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	武田　江里子 （58） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	木戸　芳史 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究
専	教授	渡井　いずみ （56） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	永田　年 （63） ＜令和4年4月＞ 医学博士
		健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	秋田　天平 （53） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		看護学研究方法論 健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	教授	永谷　幸子 （49） ＜令和6年4月＞ 博士（看護学）
		基礎看護学特講 基礎看護学特別演習 特別研究
専	教授	脇坂　浩 （54） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	教授	鈴木　みずえ （64） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習 特別研究
専	教授	安田　孝子 （62） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	武田　江里子 （59） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）
		リプロダクティブヘルス 看護学特講 リプロダクティブヘルス 看護学特別演習 特別研究
専	教授	木戸　芳史 （46） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		精神看護学特講 精神看護学特別演習 特別研究
専	教授	渡井　いずみ （57） ＜令和4年4月＞ 博士（保健学）
		看護学研究方法論 地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	山下　寛奈 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	准教授	影山　葉子 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見　利香 （56） ＜令和4年4月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本　真実 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島　恭子 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼担	教授	田中　悟志 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	行動神経科学
兼担	教授	大磯　義一郎 （47） ＜令和4年4月＞ 法務博士（専門職）	医療倫理学
兼担	教授	古屋　淳 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	医学統計学
兼担	教授	尾島　俊之 （59） ＜令和4年4月＞ 博士（公衆衛生学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	山下　寛奈 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	准教授	影山　葉子 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見　利香 （56） ＜令和4年4月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本　真実 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島　恭子 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼担	教授	田中　悟志 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	行動神経科学
兼担	教授	大磯　義一郎 （47） ＜令和4年4月＞ 法務博士（専門職）	医療倫理学
兼担	教授	古屋　淳 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	医学統計学
兼担	教授	尾島　俊之 （59） ＜令和4年4月＞ 博士（公衆衛生学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	山下　寛奈 （46） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	准教授	影山　葉子 （53） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見　利香 （57） ＜令和4年4月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本　真実 （46） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島　恭子 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼担	教授	田中　悟志 （46） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	行動神経科学
兼担	教授	大磯　義一郎 （48） ＜令和4年4月＞ 法務博士（専門職）	医療倫理学
兼担	教授	古屋　淳 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	医学統計学
兼担	教授	尾島　俊之 （60） ＜令和4年4月＞ 博士（公衆衛生学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	山下　寛奈 （47） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	健康科学特講 健康科学特別演習 特別研究
専	准教授	影山　葉子 （54） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	成人看護学特講 成人看護学特別演習 特別研究
専	准教授	坪見　利香 （58） ＜令和4年4月＞ 博士（ヒューマン・ケア科学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習 特別研究
専	准教授	山本　真実 （47） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	地域看護学特講 地域看護学特別演習 特別研究
専	講師	宮城島　恭子 （53） ＜令和4年4月＞ 博士（看護学）	小児看護学特講 小児看護学特別演習
兼担	教授	田中　悟志 （47） ＜令和4年4月＞ 博士（理学）	行動神経科学
兼担	教授	大磯　義一郎 （49） ＜令和4年4月＞ 法務博士（専門職）	医療倫理学
兼担	教授	古屋　淳 （53） ＜令和4年4月＞ 博士（数理学）	医学統計学
兼担	教授	尾島　俊之 （61） ＜令和4年4月＞ 博士（公衆衛生学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　和夫 (62) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	教授	堀井　俊伸 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	医療倫理学
兼担	教授	須田　隆文 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	医療倫理学
兼担	教授	山末　英典 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼担	教授	木村　通男 (64) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	教授	小林　利彦 (65) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼担	准教授	長田　怜 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	医療倫理学
兼担	准教授	Michel Johnson (54) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼担	准教授	中村　美詠子 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　和夫 (62) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	教授	須田　隆文 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	医療倫理学
兼担	教授	山末　英典 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼担	教授	木村　通男 (64) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	准教授	長田　怜 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	医療倫理学
兼担	准教授	Michel Johnson (54) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼担	准教授	中村　美詠子 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　和夫 (63) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	教授	須田　隆文 (62) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	医療倫理学
兼担	教授	山末　英典 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼担	准教授	長田　怜 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	医療倫理学
兼担	准教授	Michel Johnson (55) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼担	准教授	中村　美詠子 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	梅村　和夫 (64) ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	理事	須田　隆文 (63) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)	医療倫理学
兼担	教授	山末　英典 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼担	准教授	長田　怜 (47) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）	医療倫理学
兼担	准教授	Michel Johnson (56) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	加藤　孝澄 （63） ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	助教	柴田　陽介 （42） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論
兼担			
兼任	講師	金盛　琢也 （37） ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）	高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習
兼任	講師	金　鎭赫 （43） ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼任	講師	庭山　正嗣 （49） ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	看護学研究方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	加藤　孝澄 （63） ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	助教	柴田　陽介 （42） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論
兼担			
兼任	教授	秋田　天平 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	看護学研究方法論
兼任	特任教授	竹内　浩視 （59） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼任	講師	金盛　琢也 （37） ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）	高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習
兼任	講師	金　鎭赫 （43） ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼任	講師	庭山　正嗣 （49） ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	看護学研究方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	加藤　孝澄 （64） ＜令和4年4月＞ 医学博士	医療倫理学
兼担	助教	柴田　陽介 （43） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論
兼担			
兼任	教授	秋田　天平 （52） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	看護学研究方法論
兼任	**教授**	**片山　はるみ （57） ＜令和5年４月＞ 博士（医学）**	**基礎看護学特講 基礎看護学特別演習**
兼任	特任教授	竹内　浩視 （60） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼任	講師	金盛　琢也 （38） ＜令和4年4月＞ 修士（看護学）	高齢者看護学特講 高齢者看護学特別演習
兼任	講師	金　鎭赫 （44） ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼任	講師	庭山　正嗣 （50） ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	看護学研究方法論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	柴田　陽介 （44） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	疫学方法論
兼担	**講師**	**木村　哲朗 （44） ＜令和6年4月＞ 博士（医学）**	**医療倫理学**
兼任	特任教授	竹内　浩視 （61） ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	医療倫理学
兼任	講師	金　鎭赫 （45） ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	看護学研究方法論
兼任	講師	庭山　正嗣 （51） ＜令和4年4月＞ 博士（工学）	看護学研究方法論

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和４年度】

・兼担教員　堀井教授及び小林特任教授退職により、兼任教員　竹内特任教授を追加。
・より専門に近い教員が講義を担当するため、看護学研究方法論の担当について、兼任教員　秋田教授を追加。

【令和５年度】

・専任教員　片山教授退職後、非常勤講師として雇用するため、兼任教員として片山教授を追加。
・兼担教員　木村教授退職により、木村教授担当分の講義は兼担教員　長田准教授が担当する。

【令和６年度】

・専任教員　秋田教授（令和６年２月教員審査済）を追加、兼任教員から秋田教授を削除。
・専任教員　永谷教授（令和６年２月教員審査済）の追加により、非常勤講師として雇用する必要がなくなったため兼任教員　片山教授を削除。
・兼担教員　中村准教授退職。当該科目は後任の准教授が着任後に担当する。
・兼担教員　加藤准教授退職により、兼担教員　木村講師を追加。
・兼任教員　金盛講師退職。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
6 名	4 名	6 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学院】

設置時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）
8	4	1		13	
（ 8 ）	（ 4 ）	（ 1 ）	（　）	（ 13 ）	（　）

研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
9	6	3	1
(9)	(6)	(3)	(1)

現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
9	4	1		14	

研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
11	8	2	1

現在（報告時）の完成年度時の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）
9	4	1		14	
[1]	[　]	[　]	[　]	[1]	[　]

研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
11	8	2	1
[2]	[1]	[△1]	[　]

現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
9	4	1		14	
[1]	[　]	[　]	[　]	[1]	[　]

研究指導教員数	うち教授数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数
11	8	2	1
[2]	[1]	[△1]	[　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{13} = 107.69\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{14} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = -\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし					
2							

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0　科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0　科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	片山　はるみ	R5.3	選択	基礎看護学特講	①	R5.3.31付けで本学を退職したため辞任
				選択	基礎看護学特別演習	①	
				必修	特別研究	①	
2							

合計（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｇ）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	1　科目	必修	1　科目	必修	科目	必修	科目
	選択	2　科目	選択	2　科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0　科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	3　科目	計	3　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	1　科目	必修	1　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	2　科目	選択	2　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	3　科目	計	3　科目	計	0　科目	計	0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③\text{合計}(D)+(F)}{(2)-②\text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{13} = 7.69\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0　人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・　令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし				
2						

合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0　科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0　科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**<u>定年により退職した全ての専任教員</u>**<u>について</u>、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任に伴い、後任補充するまでの間、指導教員をほかの専任教員に変更、担当科目は同教員を非常勤講師として雇用の上対応した。学生へは、メールにて周知を行った。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等	履　行　状　況	今後の の実施計画
認　可　時 （令和3年）	該当なし		
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和4年度）	該当なし		
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和5年度）	該当なし		
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和6年度）	該当なし		

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜医学系研究科看護学専攻博士後期課程＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

１　大学院医学系研究科看護学専攻教授会【添付資料：大学院医学系研究科看護学専攻教授会規則】
２　大学院博士後期課程（看護学専攻）部会【大学院博士後期課程（看護学専攻）部会内規】
３　教育企画室会議【添付資料：浜松医科大学教育企画室会議規則】

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

１　大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程の専任教員等により構成される大学院医学系研究科看護学専攻教授会を年8回程度開催し、運営及び学生支援に関し協議を行う。

［令和4年度］
・第200回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和4年4月21日（木）13:30-14:05
・第201回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和4年5月19日（木）13:30-13:55
・第202回大学院院学系研究科看護学専攻教授会　令和4年7月21日（木）13:30-14:00
・第203回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和4年9月15日（木）13:30-14:05
・第204回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和4年10月20日（木）13:30-13:45
・第205回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和4年12月15日（木）13:30-13:20
・第206回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年1月11日（水）13:30-13:45
・第207回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年2月28日（火）13:30-14:25
［出席者　学長、教育・産学連携担当理事、専任教員12名ほか］

［令和5年度］
・第208回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年4月20日（木）13:29-13:50
・第209回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年5月18日（木）13:30-13:59
・第210回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年7月20日（木）13:27-13:46
・第211回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年9月21日（木）13:27-13:49
・第212回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年10月19日（木）13:28-13:50
・第213回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和5年12月21日（木）13:00-13:20
・第214回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和6年1月10日（水）15:00-15:12
・第215回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和6年2月28日（水）13:30-13:54
［出席者　学長、教育・産学連携担当理事、専任教員11名ほか］

［令和6年度］
・第216回大学院医学系研究科看護学専攻教授会　令和6年4月18日（木）13:30-13:56
［出席者　学長、教育・研究担当理事、専任教員13名ほか］

２　大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程の専任教員等により構成される博士後期課程部会を年8回程度開催し、運営及び学生支援に関し協議を行う。
[令和4年度]
・第1回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和4年4月15日（金）17:00-18:30
・第2回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和4年7月15日（金）16:45-17:05
・第3回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和4年9月9日（金）17:00-17:30
・第4回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和4年12月9日（金）16:35-16:50
・第5回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年2月20日（月）17:00-17:55
・第6回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年4月12日（水）17:00-17:27
　[出席者　教育・産学連携担当理事、専任教員6名ほか]
[令和5年度]
・第1回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年4月12日（水）17:00-17:27
・第2回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年5月10日（水）16:40-16:57
・第3回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年7月14日（金）16:33-16:40
・第4回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年9月15日（金）16:52-17:37
・第5回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年10月11日（水）～13日（金）メール会議
・第6回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和5年12月15日（金）16:30-17:01
・第7回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和6年2月20日（火）16:31-17:43
　[出席者　教育・産学連携担当理事、専任教員6名ほか]
[令和6年度]
・第1回大学院博士後期課程（看護学専攻）部会　令和6年4月12日（金）16:46-17:12
　[出席者　教育・研究担当理事、専任教員6名ほか]

３　教育に関する専門的事項等を協議するため、教育企画室会議を月1回程度開催する。
[令和4年度]
・第190回教育企画室会議　令和4年4月20日（水）16:00-17:25
・第191回教育企画室会議　令和4年5月18日（水）16:00-16:45
・第192回教育企画室会議　令和4年6月15日（水）16:00-16:42
・第193回教育企画室会議　令和4年7月20日（水）16:00-16:54
・第194回教育企画室会議　令和4年9月21日（水）16:00-17:02
・第195回教育企画室会議　令和4年10月19日（水）16:00-16:33
・第196回教育企画室会議　令和4年11月16日（水）16:00-16:54
・第197回教育企画室会議　令和4年12月21日（水）16:00-17:17
・第198回教育企画室会議　令和5年1月18日（水）16:00-17:11
・第199回教育企画室会議　令和5年2月15日（水）16:00-16:26
・第200回教育企画室会議　令和5年3月15日（水）16:00-16:30
　[出席者　教育・産学連携担当理事、専任教員2名ほか]
[令和5年度]
・第201回教育企画室会議　令和5年4月19日（水）16:00-17:25
・第202回教育企画室会議　令和5年5月17日（水）16:00-17:02
・第203回教育企画室会議　令和5年6月21日（水）16:00-17:00
・第204回教育企画室会議　令和5年7月19日（水）16:00-16:57
・第205回教育企画室会議　令和5年9月20日（水）16:00-17:00
・第206回教育企画室会議　令和5年10月18日（水）16:00-16:48
・第207回教育企画室会議　令和5年11月15日（水）16:00-16:40
・第208回教育企画室会議　令和5年12月20日（水）16:00-17:30
・第209回教育企画室会議　令和6年1月17日（水）16:00-16:30
・第210回教育企画室会議　令和6年2月15日（木）16:00-16:55
・第211回教育企画室会議　令和6年3月21日（木）16:15-16:39
　[出席者　教育・産学連携担当理事、専任教員2名ほか]
[令和6年度]
・第212回教育企画室会議　令和6年4月17日（水）16:00-17:30
　[出席者　教育・研究担当理事、専任教員2名ほか]

c　委員会の審議事項等

１　大学院医学系研究科看護学専攻教授会
(1)　看護学専攻の学生の入学及び課程の修了
(2)　学位の授与
(3)　前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

２　大学院博士後期課程（看護学専攻）部会
(1)　教育課程の編成及び授業に関すること。
(2)　学生(研究生、科目等履修生、聴講生等を含む。以下同じ。)の修学指導に関すること。
(3)　学生の入学(入学試験委員会が所掌する事項は除く。)、浜松医科大学学則第53条及び第54条の規定による退学並びに除籍に関すること。
(4)　学生の支援に関すること。
(5)　学位の授与に関すること。
(6)　その他大学院に関すること。

３　教育企画室会議
(1)　企画室に係る中期目標・中期計画(進捗状況のモニタリングを含む。)に関する事項
(2)　企画室に係る予算に関する事項
(3)　企画室に係る業務実績報告に関する事項
(4)　教育方針の策定に関する事項
(5)　教育の評価・改善に関する事項
(6)　その他教育及び国際交流に関する事項

② 実施状況

ａ 実施内容

大学院博士後期課程（看護学専攻）部会等において、FD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等を検討するとともに、授業評価アンケート等授業改善に資する必要な活動を適宜実施する。

ｂ 実施方法

オンラインにてFD講演会を実施した。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年9月26日（火）13:30～15:00開催。参加者22名（うち専任教員4名）

ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学院博士後期課程（看護学専攻）部会等において、FD・SD活動を含む、教員の資質の維持向上の方策等を検討するとともに、授業評価アンケート等による評価を行い、授業改善に向け適切なフィードバックを行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ 実施の有無及び実施時期

令和6年1月に、令和5年度の授業評価アンケートを実施した。

ｂ 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は関係会議で報告するとともに、紙媒体等にて公表し、専任教員等に共有する。

（注）・「①ａ 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和5年度中に実施した入試にて、定員と同数の3名の入学があり、引き続き精力的活動を行っている。
令和4年度入学者及び令和5年度入学者は、配当年次が１年である授業科目について順調に単位を取得しており、大学院医学系研究科看護学専攻教授会等の活発な議論に基づき、今後も着実に計画を実施し発展することを目指す。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・未定（最初の自己点検を令和7年度に実施予定）

ｂ　公表方法

・未定（検討中）

③　認証評価を受ける計画

・未定（検討中）

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和５年度）

ａ　公表予定の有無　〔　（有）　・　無　〕

≪ａで「有」の場合≫
ｂ　公表（予定）時期　〔（調査結果公表後１ヶ月以内）・　公表後２～３ヶ月以内　・　公表後３ヶ月以降　〕
ｃ　公表方法　〔（ウェブサイトへの掲載）・　その他（　　）　〕

≪ａで公表「無」の場合≫
ｄ　公表しない理由　〔　　〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。